



100号に寄せて

～次の世代につながる共生社会の形成を目指す～



全国特別支援学級設置学校長協会
会長 山中ともえ

8月3～4日に、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、岡山県特別支援学級設置学校長協会のお力添えにより、平成29年度全特協の第54回全国研究協議会岡山大会を盛会のうちに終えることができました。「共生社会の形成に向けて一人一人の教育的ニーズに応え、豊かに生きる力をはぐくむ特別支援教育の推進と充実」を大会主題として、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長 中村信一様からの行政説明、大原美術館名誉理事長 大原謙一郎様から「一人一人の教育的ニーズと大原美術館」と題したご講演をいただきました。3分科会に分かれた実践報告による協議会等、外の暑さに負けない参加者の熱気が伝わり、特別支援教育が開始されて10年の節目に相応しい大会でした。

さて、本協会の会報が100号を迎えることになりました。まだ特殊教育と言われた昭和39年11月に結成大会を開催し、50年以上にわたって小・中学校の特別支援学級や通級による指導の発展に寄与してまいりました。結成時は、当時の盲・聾・養護学校小・中学部の学習指導要領が整い、障害のある子供の教育内容が国によって明確にされた頃です。これらにより、地域の小・中学校に設置されている特殊学級に通う子供の教育内容も、養護学校の学習指導要領を参考にして向かうべき方向が明確になりました。その後、障害者の「自立と社会参加」を促進するため、障害者施策に関する法令等の公布や改正、学習指導要領の改訂がなされ、現在に至っています。本協会では一貫して、特別支援学級や通級による指導の条件整備を進めるため、関係機関と連携しつつ、全国の特別支援教育に関わる校長先生方の総意を結集し、活動を継続してまいりました。

平成19年4月に特殊教育から特別支援教育に制度が変わり、本協会の名称も全国特殊学級設置学校長協会から、全国特別支援学級設置学校長協会と名称を変更しました。名称の変更だけではなく、それまでの特殊学級の発展に関わる役割に加え、さらに小・中学校の通常の学級における特別支援教育の推進に関わる役割も担うようになっていきます。

次期学習指導要領では、学校は教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことが重要であることが示されています。今後は、「社会に開かれた教育課程」の中で、障害のある子供も障害のない子供も共に、社会を形成する一員として豊に育つことを目標としていかなければなりません。それを達成するためには、これまで以上に、私達校長は大胆なカリキュラム・マネジメントを確立して行くことが鍵となります。様々な課題を抱えている子供の存在が明らかな今、どの学校においても子供一人一人の発達を支援するための特別支援教育の充実が学校経営上の大きな柱となります。

個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成・活用、自立活動の実践の積み重ね、各教科における手立ての工夫、交流及び共同学習の推進、合理的配慮など多くの課題がありますが、本協会としては、多様な学びの場をそれぞれ充実させるとともに、インクルーシブ教育システム構築に向け、次の世代につながる歩みを進めてまいります。皆様方の御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第54回 全国研究協議会 岡山大会

岡山大会実行委員長 濱本 琢也



平成29年度全国特別支援学級設置学校長協会第54回全国研究協議会岡山大会は、平成29年8月3日（木）4日（金）に、岡山県岡山市の岡山コンベンションセンター・ピュアリティまきびで開催されました。

大会主題を「共生社会の形成に向けて、一人一人の教育的ニーズに応え豊かに生きる力をはぐくむ特別支援教育の推進と充実」とし、全国各地から580名を越える参加者を迎え、講演と分科会提案を主に、グループ協議を取り入れ運営しました。

山中ともえ会長をはじめとする本部役員の皆様、全国理事及び全国各地からご参会いただいた校長先生方のおかげで、無事に岡山大会を終えることができ心から感謝申し上げます。

以下、大会の概要について報告いたします。

[1日目 8月3日(木)]

<行政説明> 「特別支援教育の動向、施策等について」

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長 中村 信一 様

- 1 校内支援体制の整備
- 2 教員の専門性向上・指導体制の充実
- 3 高等学校段階における特別支援教育の推進
- 4 次期学習指導要領に向けた対応
- 5 障害者権利条約・障害者差別解消法への対応
- 6 教室不足の解消

<講演> 「一人一人の教育的ニーズと大原美術館」

大原美術館名誉理事長 大原 謙一郎 様

大原美術館は日本で一番最初に設置された近代美術館として、深く追及してきた。大原氏の京都師範学校附属小学校で受けた一人ひとりのニーズを考えた教育の影響で教育普及活動にも関心が高く、大原美術館での子ども講座も催している。根底に感性を伸ばすということを語られ、校長としても別の視点で子供たちを見る姿勢が必要と感じられた。

[2日目 8月4日(金)]

<実践報告・研究協議>

第1分科会 「校内特別支援教育の推進・充実と学校経営」

実践報告1 「授業のユニバーサルデザインを意識した授業づくりをとおして」

広島県広島市立中島小学校 関 和典 校長

実践報告2 「児童一人一人の教育的ニーズに応えるタテとヨコの取組」

岡山県倉敷市立第三福田小学校 高尾 泰子 校長

この分科会では、これからはどの学級にも支援を必要とする児童生徒の増加が考えられるため、環境整備をなるべく共通にし、どの子にも理解しやすい・わかりやすい授業の必要性(ユニバーサルデザインの授業)や、校内体制づくりとして人事異動前の3月からのスタートの取組、中学校区で全員研修会や意見交換を行い長期的視点での子供を理解する取組が報告されました。グループ協議では、小規模校では推進となる教員の人材不足、大規模校では、多様なケースがあり追いつかないという意見や保護者と教員の連携を小学校の幼い段階からしっかり取り、将来のことを視野にとという意見も出された。

第2分科会 「特別支援教育の充実に向けた教職員の人材育成」

実践報告3 「インクルーシブ教育システム構築を学校経営の柱にした、教職員の人材育成について」

鳥取県境港市立第三中学校 山本 淳一 校長

実践報告4 「全教職員の一步から進める特別支援教育の取組」

岡山県岡山市立吉備中学校 吉田 万里子 校長

この分科会ではどちらも中学校の発表で、校内体制を一新した取組、本人への配慮・集団への配慮の工夫、教職員の共通理解、生徒の活躍できる場を設けるなどの生徒との関わり方や校内体制づくりの取組が報告されました。グループ協議では、外部との連携や校内での共通理解することで担任や教職員の力量を高めていけることや、支援の子供だけでなく、周りの子供への指導も大切であるという意見が出された。指導助言では、合理的配慮は子供の状態によっても変わっていくため、今必要なことは何かを考え教育支援計画を作成するという助言をいただきました。

第3分科会 「関係機関との連携で進める特別支援教育」

実践報告5 「自己信頼・他者信頼を育み、自分らしさの発揮を目指して」

島根県大田市立静間小学校 松原 洋司 校長

実践報告6 「地域拠点となる新たな特別支援教育推進センターと関係機関との双方向による連携の創造に向けて」

岡山県津山市立北小学校 吉田 英生 校長

この分科会では、大田市と津山市の行政の関係機関と校内体制をどう活かしているのかの報告のあと、特別支援コーディネーターとしての人材育成や専門的力量を持った人材育成の早急な必要性、リソースマップを作成・活用するなどの意見が出された。

<全体会・全体講評>

各分科会報告者よりそれぞれの分科会の協議内容について報告があった後は、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官の田中裕一様から全体講評をいただき、最後に閉会行事を行い全日程が終了いたしました。

詳細につきましては、平成30年3月発行予定の全特協平成29年度研究紀要に掲載予定です。

平成29年度 全国特別支援学級設置学校長協会秋季研究協議会
第34回 関東甲信越地区研究協議会 神奈川大会

- 1 研究主題 「学校における一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」
- 2 期 日 平成29年11月24日(金) 10:00~16:10
- 3 会 場 鎌倉芸術館
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船6丁目1番2号
- 4 日 程
 - (1) 開会行事 10:00~10:30
挨拶 来賓祝辞
 - (2) 研修Ⅰ 10:30~11:30
実践発表1 「インクルーシブ教育の推進を目指した校内支援体制の充実」
～一人一人がいきる授業づくりと『のびっこルーム』の活用～
厚木市立毛利台小学校 山田 淳司 校長
講評 神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課 指導主事 野地 崇 様
 - (3) 研修Ⅱ 12:45~14:30
実践発表2 「一人一人の教育的ニーズに応じた川崎における特別支援教育の課題と取組」
川崎市立大戸小学校 松野 剛一 校長
講評 神奈川県教育委員会教育局支援部特別支援教育課 指導主事 加藤 久典 様
実践発表3 「自立を支えるキャリア教育」
～パイロット校・医療・福祉等関係機関等の連携～
松田町立寄中学校 植松 さとみ 校長
講評 神奈川県教育委員会教育局インクルーシブ教育推進課 指導主事 石井 友紀 様
 - (4) 研修Ⅲ 14:45~16:00
講 演 「見えないから見えたもの」
社会福祉法人 岡山県視覚障害者協会理事 竹内 昌彦 様
 - (5) 閉会行事 16:00~16:10
次期開催地区代表挨拶(茨城県理事)

☆ 参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

関東甲信越地区研究協議会 神奈川大会実行員会事務局 鎌倉市立玉縄中学校 校長 越川 雅之
〒247-0072 神奈川県鎌倉市岡本1100 TEL 0467-43-6197 fax 0467-43-5917

第3回全国理事研究・研修協議会の御案内

- ・期 日 平成30年1月25日(木)・26日(金)
- ・会 場 滋賀県 ピアザ淡海(滋賀県大津市におの浜一丁目1-20)

【全国特別支援学級設置学校長協会本部事務局の移転のお知らせ】

平成29年11月より、東京にある本部事務局が移転します。住所のみの変更で、
電話・ファックス、メールには変更はありません。よろしく願いいたします。

(新住所)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1 ニューステイトメナー609号室

電話/FAX 03-6276-6883(変更なし)